

2020年10月の天候

令和2年11月9日
盛岡地方气象台

この資料内のデータは速報値です。
後日、内容の訂正・追加を行うことがあります。

《 特 徴 》

【日照時間が少ない】

1 天候経過

〈天候の特徴〉

上旬は前線や気圧の谷の影響で曇りの日が多かった。中旬から下旬にかけて高気圧と低気圧が交互に通過し天気は周期的に変わり、低気圧の通過後は冬型の気圧配置となる日があった。

月平均気温は平年並で平年より高い所があった。月降水量は内陸で平年より少なく、沿岸北部は平年並で、沿岸南部で平年より少なかった。月間日照時間は平年より少ないからかなり少なかった。

上旬：前線や気圧の谷の影響で曇りの日が多かった。

旬平均気温は平年並で平年より高い所があった。旬降水量は県内全域で平年より少なかったが、沿岸では平年並の所があった。旬間日照時間は平年よりかなり少なかった。

中旬：低気圧や気圧の谷の影響で曇りの日が多かった。後半は高気圧に覆われ晴れる日もあった。旬平均気温は平年並だった。旬降水量は内陸で平年並から平年より多かったが、北部では平年より少ない所があった。沿岸は平年よりかなり多かった。旬間日照時間は平年より少ないから平年並だった。

下旬：低気圧や高気圧が交互に通過し天気は周期的に変わった。前半を中心に、前線や気圧の谷の影響で曇りや雨の日が多かった。後半は高気圧に覆われ晴れる日もあった。

旬平均気温は平年並で平年より高いところがあった。旬降水量は内陸で平年並、沿岸は平年より少なかった。旬間日照時間は平年並で、南部では平年より多いところがあった。

○盛岡、宮古、大船渡の旬及び月統計値

地点\要素	平均気温	平年差	階級区分	降水量	平年比	階級区分	日照時間	平年比	階級区分	
盛岡	上旬	14.9	0.5	平年並	8.0	22	少ない	20.3	43	かなり少ない
	中旬	13.1	0.7	平年並	28.5	110	平年並	39.3	82	少ない
	下旬	10.5	0.7	平年並	33.0	107	平年並	55.4	109	平年並
	月	12.7	0.6	高い	69.5	75	少ない	115.0	79	かなり少ない
宮古	上旬	15.1	-0.1	平年並	27.5	49	平年並	21.8	46	かなり少ない
	中旬	13.9	0.3	平年並	98.0	288	かなり多い	42.6	84	少ない
	下旬	11.5	0.2	平年並	5.0	14	少ない	56.6	99	平年並
	月	13.4	0.1	平年並	130.5	104	平年並	121.0	78	かなり少ない
大船渡	上旬	16.0	0.1	平年並	33.0	57	少ない	18.9	44	かなり少ない
	中旬	14.8	0.6	平年並	49.0	129	多い	40.8	92	平年並
	下旬	12.1	0.2	平年並	18.0	41	少ない	60.0	111	多い
	月	14.3	0.3	平年並	100.0	71	少ない	119.7	85	少ない

〈単位 気温:℃ 降水量:mm 日照時間:h 平年差(比):℃(%)〉 平年値:1981~2010年の平均値

2 日別の気圧配置

- 1日：北日本は気圧の谷となる。一方、東シナ海の高気圧が西日本に次第に張り出す。
- 2日：東シナ海の高気圧が日本の東に移動する。
- 3日：日本海北部の低気圧がサハリンへ進む。この低気圧からのびる前線が日本海中部を通過して朝鮮半島にのびる。
- 4日：サハリンの低気圧からのびる前線が北日本に停滞する。
- 5日：日本海北部の低気圧がオホーツク海へ進む。この低気圧からのびる前線が北日本を通過する。
- 6日：北日本は気圧の谷となる。
- 7日：引き続き、北日本は気圧の谷となる。一方、日本海西部の高気圧が日本付近に次第に張り出す。
- 8日：引き続き、北日本は気圧の谷となる。一方、日本海西部の高気圧が日本付近に次第に張り出す。
- 9日：日本海北部の高気圧が日本の東へ移動する。一方、台風第14号が日本の南をゆっくり北東へ進む。
- 10日：北日本は日本のはるか東の高気圧に緩やかに覆われる。一方、台風第14号が日本の南をゆっくり東へ進む。

- 11日：千島の東の高気圧が北日本に張り出す。
- 12日：引き続き、千島の東の高気圧が北日本に張り出す。一方、日本海中部の低気圧が北東へ進む。
- 13日：北海道付近の低気圧が北東へ進む。この低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。一方、中国東北区の高気圧が西日本に張り出す。
- 14日：沿海州の低気圧がオホーツク海へ進む。この低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。一方、中国東北区の高気圧が日本付近に張り出す。
- 15日：中国東北区の高気圧が日本海中部に移動する。一方、北日本は気圧の谷となる。
- 16日：日本付近は移動性高気圧に覆われる。
- 17日：引き続き、日本付近は移動性高気圧に覆われる。一方、北日本は気圧の谷となる。
- 18日：引き続き、日本付近は移動性高気圧に緩やかに覆われる。
- 19日：引き続き、日本付近は移動性高気圧に緩やかに覆われる。
- 20日：引き続き、日本付近は移動性高気圧に覆われる。

- 21日：北海道の高気圧が千島近海に移動する。
- 22日：北日本は千島の東の高気圧に覆われる。一方、九州の西の低気圧が日本海西部へ進む。
- 23日：日本海中部の低気圧が発達しながら間宮海峡へ進む。また、この低気圧からのびる前線が北日本を通過する。
- 24日：間宮海峡付近の低気圧がゆっくり東へ進む。日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 25日：引き続き日本付近は冬型の気圧配置となる。
- 26日：冬型の気圧配置が緩む。一方、黄海の高気圧が西日本に次第に張り出す。
- 27日：日本海中部の高気圧が日本の東に移動する。一方、日本海西部の低気圧が北東へ進む。
- 28日：日本海中部の低気圧が北東へ進む。また、この低気圧からのびる温暖前線が北日本を通過する。
- 29日：北海道の西の低気圧がオホーツク海へ進む。また、この低気圧からのびる寒冷前線が北日本を通過する。
- 30日：北日本は気圧の谷となる。
- 31日：日本海西部の高気圧が三陸沖に移動する。

3 気象統計値表

○気象官署及び特別地域気象観測所(10月として5位まで記載)

要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間
日最大10分間降水量	mm	大船渡	4	9.5	2020年10月12日	1963年

○アメダス(10月として1位更新:統計期間10年以上の要素を記載)

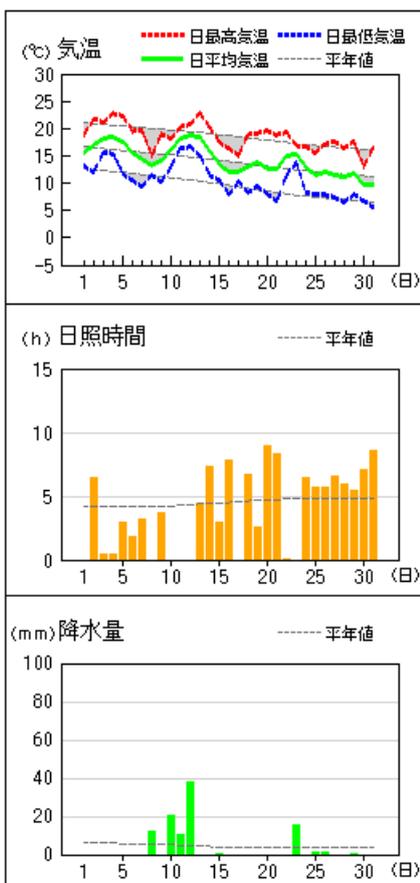
要素名	単位	地点名	順位	値	起日	統計期間
日最大1時間降水量	mm	紫波	1	21.5	2020年10月12日	1977年
日最大10分間降水量	mm	紫波	1	8.5	2020年10月12日	2009年
月降水量の少ない方から	mm	滝沢	1	52.0	2020年10月	2005年
		花巻	1	68.5	2020年10月	1976年
		金ヶ崎	1	86.0	2020年10月	2006年

注)「年1」は通年の極値更新を表す。

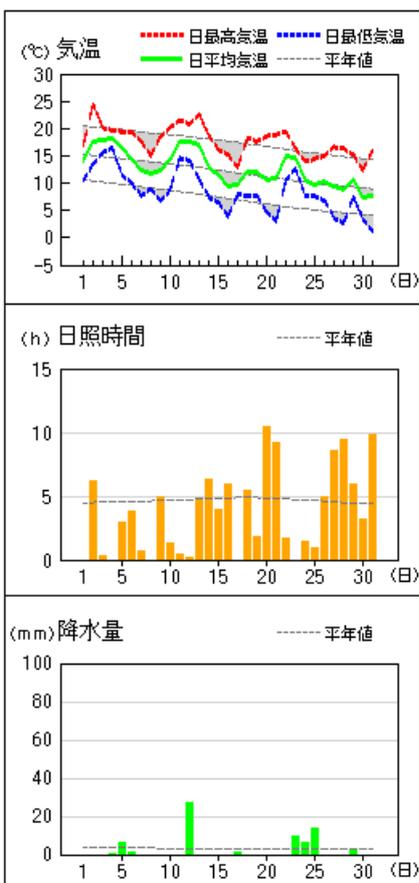
4 気象経過図

アメダス 気象経過図：2020年10月01日-2020年10月31日

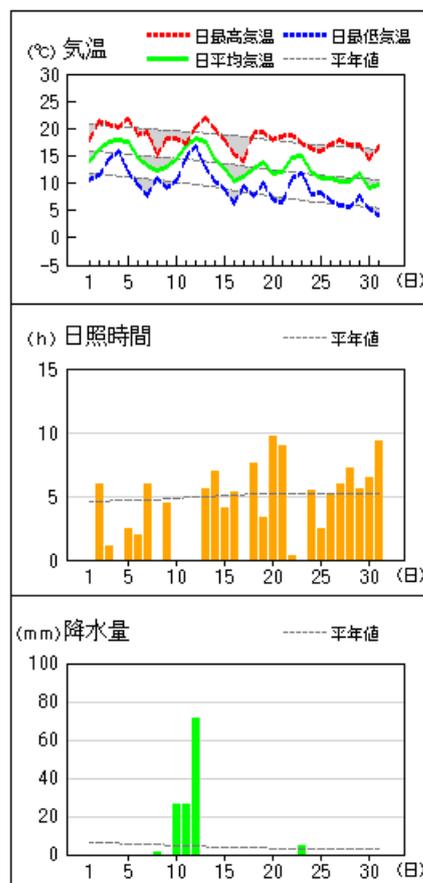
大船渡



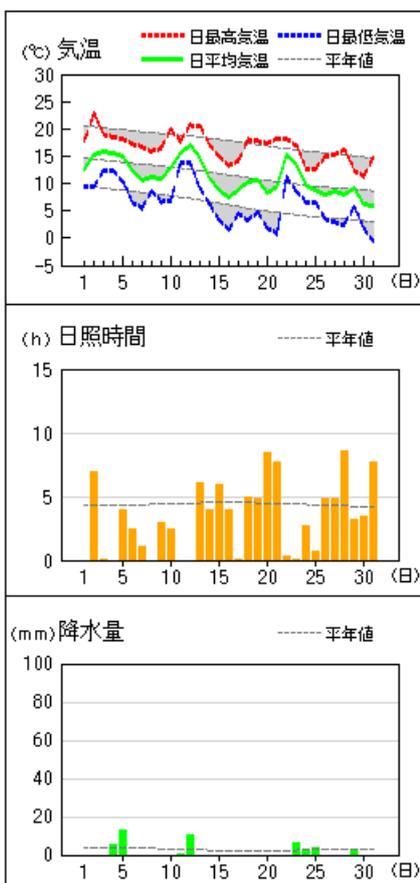
盛岡



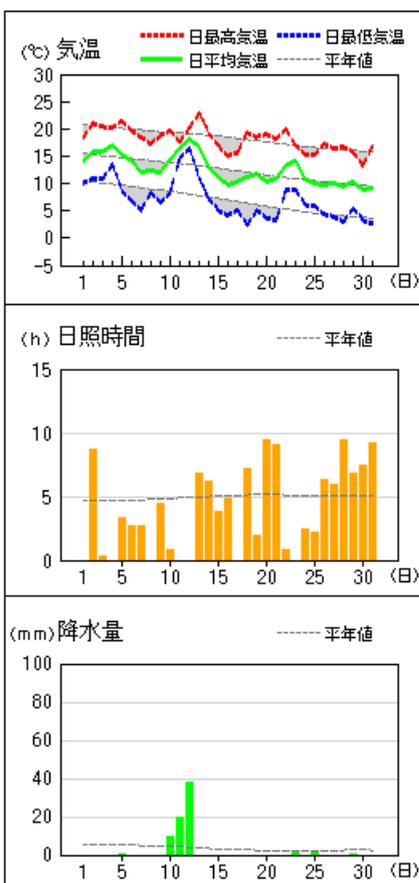
宮古



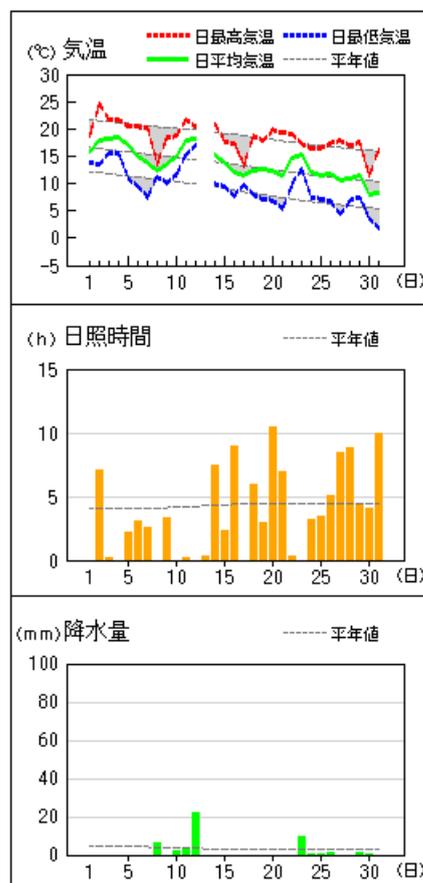
二戸



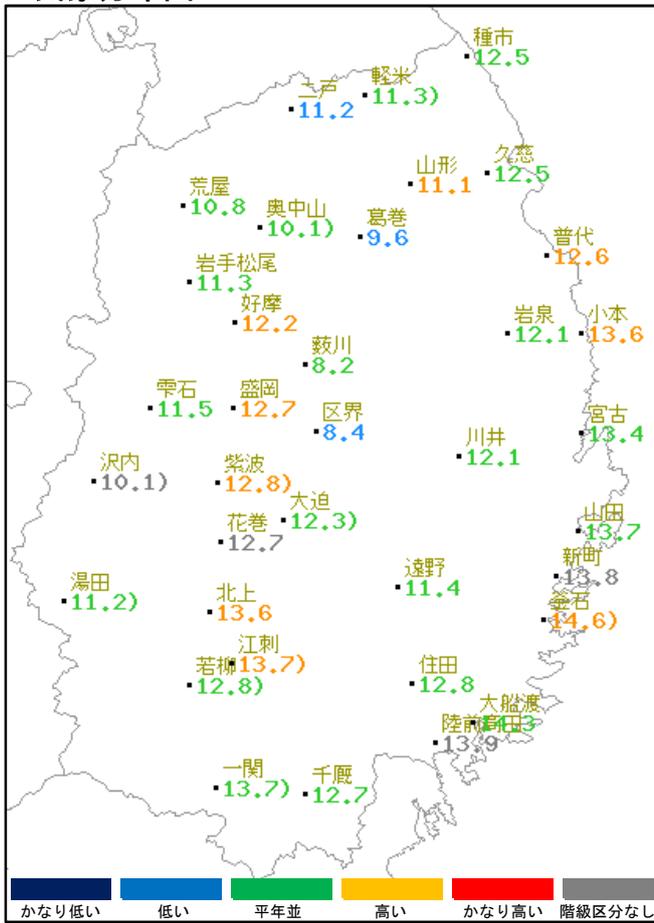
久慈



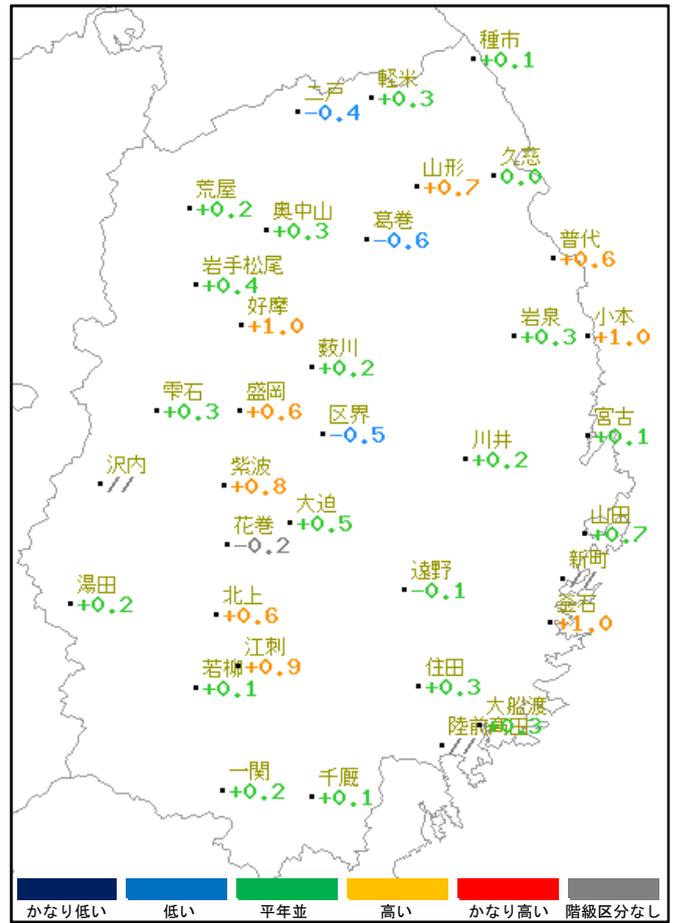
一関



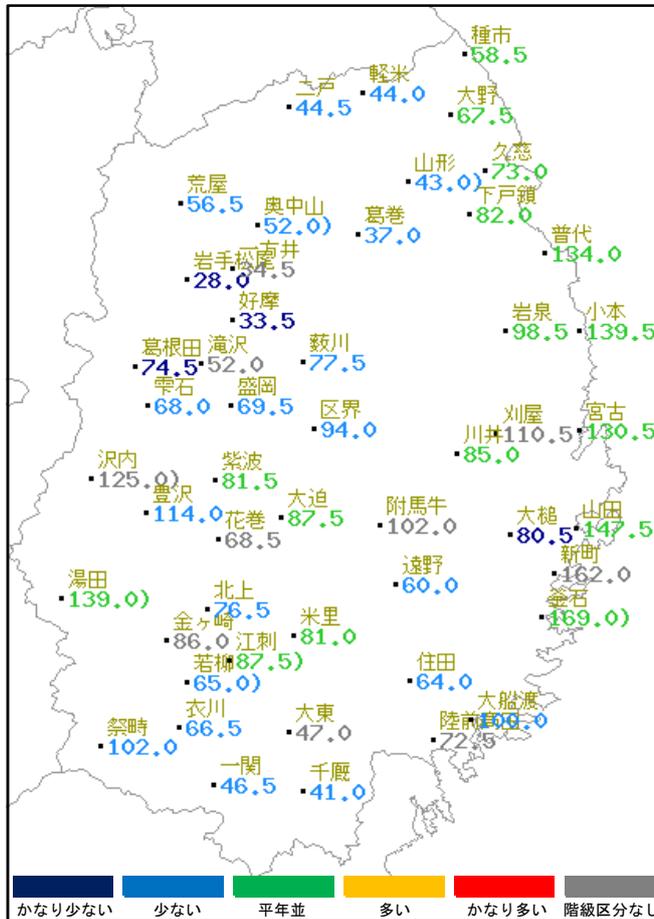
5 気象分布図

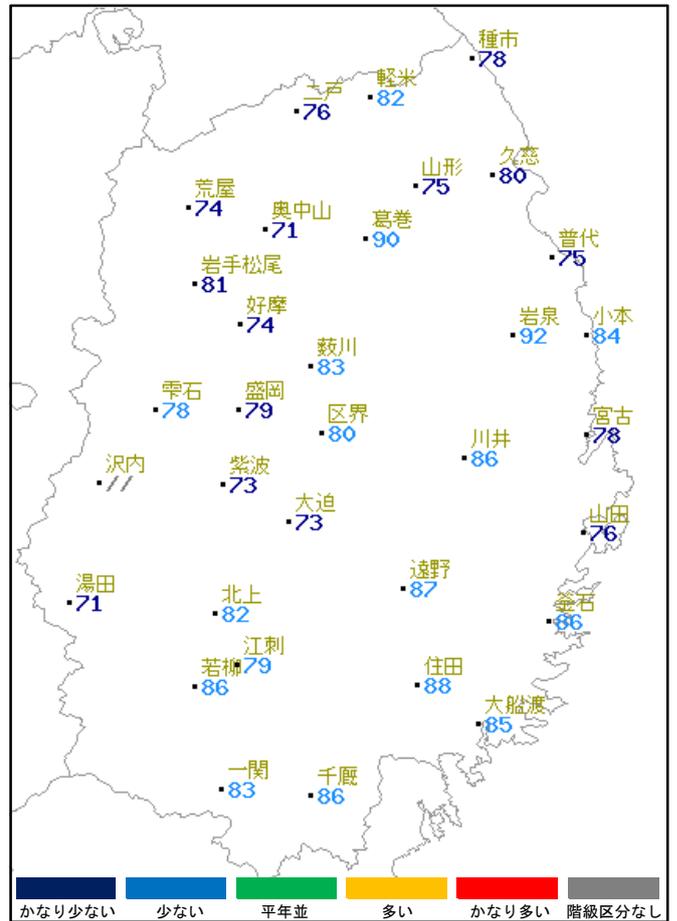
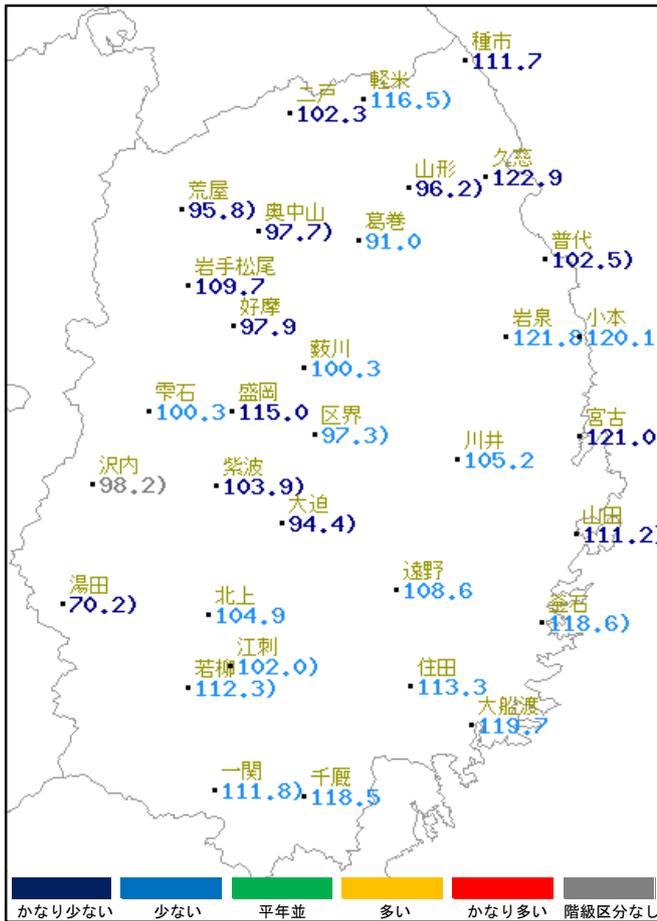


月平均気温実況値(°C)



月平均気温平年差(°C)





月間日照時間実況値 (h)

月間日照時間平年比 (%)

記号の意味) : 準正常値] : 資料不足値 × : 資料なし // : 平年値なし
 平年値 : 1981~2010年の平均値 (花巻は2003~2010年)

○2020年の台風発生状況 (11月2日現在の速報値)

年 \ 月	1月	2月	3月	4月	5月	6月	7月	8月	9月	10月	11月	12月	年間
2020					1	1		7	4	7			20
2019	1	1				1	4	5	6	4	6	1	29
平年値	0.3	0.1	0.3	0.6	1.1	1.7	3.6	5.9	4.8	3.6	2.3	1.2	25.6

各種観測値、統計値や平年値及び季節予報は気象庁ホームページに掲載しています。

【気象資料】 <https://www.data.jma.go.jp/obd/stats/etrn/index.php>

【気象データのダウンロード (CSV)】 <https://www.data.jma.go.jp/gmd/risk/obsdl/index.php>

【季節予報】 https://www.jma.go.jp/jp/longfcst/102_00.html

【注意事項】

本資料に掲載されている観測値は断り書きがない限り、盛岡は気象官署、宮古・大船渡は特別地域気象観測所、その他の観測所は地域気象観測所の観測値を使用しています。

なお、本資料の著作権は盛岡地方気象台が有しています。掲載されているデータや図表を利用する場合は「盛岡地方気象台の資料に拠った」旨記載して下さい。

また、営利を目的に増刷など行う場合は所定の手続きに拠るものとします。

本資料に関する問い合わせ先

盛岡地方気象台 電話019(622)7870